

新木近隣センターだより 第265号

令和4年9月17日
新木地区まちづくり協議会
広報部会発行
我孫子市新木1500
新木近隣センター内
Tel 04-7188-2010
araki1994@kxb.biglobe.ne.jp



空が高く、青さを増してきました。月が、いよいよ美しく輝いてきました。虫の声も、秋が来たよと歌っています。

お散歩では、マスクを外して空を見上げて大きく深呼吸。秋の匂いを感じましょう。

新木近隣センターだより266号は、10月22日(土)に発行します

新木ふれあい文化祭

新木地域での文化の向上、発展をめざして、文化祭を開催します。各サークルが日頃から鍛えた芸能披露と絵画、書道などの展示紹介をします。詳細は、次号のセンターだよりで案内します。

日時：11月12日(土) 10:00~16:00

11月13日(日) 10:00~15:00

会場：新木近隣センター全館 プログラムは次号に掲載します。

新木地区の公園6カ所を巡る「はっけんあらきウオーラリー」を両日同時に開催します。当日受付、時間は10:30~14:30、参加費大人50円、こども無料です。

文化祭出展者・出演者募集

新木ふれあい文化祭の演芸部門に出演される方、展示部門に出展される方を募集します。応募いただける方は、新木近隣センター(☎7188-2010)までお願いします。

応募締切り：10月10日(月)

出展者、出演者説明会

10月14日(金) 15:00~
新木近隣センター 会議室

自主防災訓練を実施します

10月13日(木)

10時30分~12時

- ① 館内初期消火の試み
 - ② 通報訓練
 - ③ 避難誘導訓練
 - ④ 消火訓練
 - ⑤ AED操作体験
- 雨天の場合は②と⑤のみ実施

歌声喫茶 in 新木



新型コロナウイルス感染症対策を施して、鳥谷部さんの伴奏と一緒に歌います。コロナ感染条項により、変更もあります。

場所 新木近隣センター 多目的ホール

日時 10月8日(土) 13:30~15:00

内容 鳥谷部由美子さんの伴奏で歌います

参加費 500円

申し込み 受付開始 9月22日(木) 先着40名
新木近隣センター 電話 7188-2010

注意事項 マスク着用・履物持参
本人または同居人に発熱や風邪の症状がある方、感染者との濃厚接触者は参加できません

主催 新木地区まちづくり協議会

電話の詐欺防止川柳
留守電と110番の二刀流



湖北中学校 学校紹介

文責：教頭 佐藤 夏



はつらつとした生徒が集う湖北中には20年以上前から生徒が生み出したゆるキャラ「こころちゃん」がいます！校章にも描かれている稲穂を持って、湖北中生をおすまし顔で見守ってくれています。そんな湖北中の人気者、こころちゃんが湖北中の魅力を紹介します！



わたしは湖北中学校の校歌が大好き！四季の移ろいの美しい湖北中学校を象徴するような校歌なの。湖北中学校の校歌は、1年間を通して、湖北中学校の生徒が成長していく様子を、そして仲間・チームになっていく様子を歌っていて、ぜひ地域の皆さんにも知ってほしいなあ。

「今日もはげまん手をとって」

市内の中学校の中でもダントツの広さを誇る湖北中。その分、切っても切り離せない除草作業・・・日頃から、環境整備にも生徒・職員で一生懸命取り組んでいるよ。今年の7月には3年生の協力を得て、広ーい学校周辺の側溝や道路の除草作業を行ったんよ。通学路は1年を通して落ち葉があり、雨の次の日は通学途中に足を滑らせる生徒が時々いるの。1年生の時にも、地域貢献活動として除草作業に取り組んでいたから、手際の良さは素晴らしかったよ。湖北の安全は3年生によって守られました！先輩達の大きな背中を見て、1・2年生が育っていくんだなあ。



「足並み揃え颯爽と」

学校教育目標「主体性」と「共生」は、主体的に判断・行動し、現代の社会で共によりよく生きる生徒の育成を目指しています！「共生の学び合い」「主体的な生徒活動」「自律の部活動」「感動の歌声」「笑顔の挨拶」「心を磨く清掃」たくさんの



のキーワードのもと、生徒が活発に活動しているよ。中でもわたしが大好きなのが、湖北中生の歌声！女子のソプラノの抜け感、合唱を支える男子のダンディーボイス。秋になると合唱コンクールがあるから、教室から響いてくる歌声を聞いていると、ワクワクが止まらないの！今年のもホールいっぱい歌声を「いい顔 いい声 いい心」で響かせるよ。

「郷土の誇り輝かせ」

湖北中でしかできない学びがたくさんあります。伝統とICT機器などの最新の教育設備が融合する教育環境で、湖北中生は日々充実した学校生活を送っています。湖北地区の福祉祭りやふれあい文化祭、認知症サポーター講座、我孫子特別支援学校との交流、幅広い視野で物事を考えるきっかけとなっています。これからも地域の皆さんと湖北中の歴史を刻んでいきたいなあ。



らくらく健康体操『バランスボールで楽しく健康』開催



8月24日多目的ホールで、らくらく健康体操「バランスボールで楽しく健康」が開催されました。始めに足のつま先から付け根までのリンパの流れを良くする方法を教わり、バランスボールで飛び跳ねながらジャンケンをしたり、音楽にあわせて弾んだり、全身をしっかりと動かすことができました。ベジガールズの皆さんの笑顔と分かりやすい指導で、身体と心も弾む、アツという間の楽しい時間でした。参加者からは「おかげで身体が軽くなり、気分もスッキリしました。」との感想も聞かれました。次回は10月15日リズム太鼓です。



料理セミナー『手打ちうどん』開催

料理セミナー「手打ちうどんの基本と変わりうどんを楽しみましょう」が7月24日に調理室で開催されました。講師の川上恵子先生から、開口一番「どうしたことでしょう？今日は男性の方が多い。嬉しいことですね。」と驚きの声。定員12名中男性が10名の参加でした。基本のうどんの作り方、うどんつゆの作り方、変わりうどんの説明の後、各自うどん作りです。うどん生地を足踏みする頃には、皆さん和気あいあいとした雰囲気。うどんを切る頃には期待で目がキラキラしていました。参加した皆さんの顔には「早く帰って夕食にいただきたい！」と書いてありました。次回の料理セミナーは10月30日、男の料理「ポリ袋クッキング」です。

なつやすみこども文庫

新木近隣センターのこどもコーナーにある「こども文庫」が夏休み限定で和室を使い、読み聞かせやお話しの時間を行いました。7月26日～8月8日（内8日）

この時期、コロナ感染者の拡大と、連日の気温は35℃以上で熱中症予防のため、外出制限が呼びかけられていました。暑い中、延べ10組の親子がおとすれました。初めて近隣センターを知ったという方、広い和室の2部屋を走り回る子たち、おすおすと入っていいのかなとママの顔を見ながらの子、慣れてくるともっともっとと本を持ってくる子、また、折り紙をしたり、あやとり、鳥グライダーを飛ばして遊んだり、十分楽しんでいました。



ふらりえ新木野 NOW 10月の予定

10月 1日 (土)	13:30～	おしゃべりの会
10月 4日 (火)	13:30～	斎木さんの健康体操
10月 6日 (木)	13:30～	おしゃべりの会
10月 8日 (土)	13:30～	折り紙教室
10月11日 (火)	13:30～	おしゃべりの会
10月13日 (木)	13:30～	斎木さんの健康体操
10月15日 (土)	13:30～	座ってできる太極拳
10月18日 (火)	13:30～	鳥谷部さんの歌声喫茶
10月20日 (木)	13:30～	おしゃべりの会
10月22日 (土)	13:30～	折り紙教室
10月25日 (火)	13:30～	コグニサイズ（認知症予防体操）
10月27日 (木)	13:30～	おしゃべりの会
10月29日 (土)	13:30～	おしゃべりの会

*マスク、飲み物をご持参ください
*各イベントは1時間程度です
*申込みは直接ふらりえへ

絶滅危惧種のサシバを見ました

文・写真：我孫子市鳥の博物館学芸員 岩本 二郎

皆さんは、「レッドリスト」という言葉を聞いたことがありますか。国や県等の行政機関が選定する、絶滅のおそれがある生物の一覧のことで、そこに掲載される生物を絶滅危惧種といいます。身近な例では、蒲焼きでおなじみのニホンウナギは、環境省のレッドリストでは2番目に絶滅危険性の高い、絶滅危惧ⅠB類に指定されています。

今年の6月に、我孫子市内で絶滅危惧種のサシバという鳥を観察しました。サシバはハシボソガラスと同程度の大きさのタカの仲間で、日本では毎年春に渡って来て繁殖します。カエルやヘビ、トカゲなどをよく餌にし、里山の生態系の上位にいる代表的な猛禽類ですが、近年、数が減ってきています。平成18年12月の改訂以降、環境省レッドリストでは3番目に絶滅危険性の高い、絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。千葉県



ニホンウナギ

のレッドリストでも現在、A類（最重要保護生物）に指定されています。この鳥を保全するためには、谷津田に面した森を残すことと、谷津田での稲作を続けることが重要であると考えられています（東 2004）。

サシバは手賀沼周辺でも毎年確認されています。2011年から2020年までの10年間において、3月から9月に確認されており（我孫子野鳥を守る会 2022a）、営業地付近で親が餌を運ぶ姿も確認されています（我孫子野鳥を守る会 2022b）。サシバが繁殖していることは、餌となるカエル・ヘビ等がたくさんいることや、営業場所となる森林が残っていることを意味します。沼の近くに丘が



我孫子市内で撮影のサシバ

ある地形は水田と斜面林も多く、サシバの繁殖にも適した環境と考えられます。現在ではベッドタウンとして開発が進みましたが、まだサシバが見られており、市街地の近くに貴重な自然が残っていることを示しています。

9月から10月にはサシバが越冬地への渡りを始めるので、渡りの個体が通過する様子を確認することもできます。皆さんの家の近くでも、写真のような鳥を見かけたら是非、注目してみてください。

引用文献：

- ・東淳樹. 2004. サシバとその生息地の保全に関する地域生態学的研究. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告 Vol.12(1): 1-119.
- ・我孫子野鳥を守る会. 2022a. 手賀沼の鳥Ⅳ-人と鳥との共存をめざして- 我孫子市, 自費出版.
- ・我孫子野鳥を守る会. 2022b. 探鳥ガイドブック「手賀沼の鳥」我孫子野鳥を守る会 創立50周年記念出版. 我孫子市, 自費出版.

我孫子市 鳥の博物館

休館日：月曜日 開館時間：9：30～16：30

入館料：一般 300円 高校・大学生 200円

小中学生以下、70歳以上は無料

問合わせ：04-7185-2212

アクセス：我孫子駅南口から、東我孫子車庫行き
バスで市役所下車、徒歩5分